

ApeosPort-VI C7771	DocuCentre-VI C7771
ApeosPort-VI C6671	DocuCentre-VI C6671
ApeosPort-VI C5571	DocuCentre-VI C5571
ApeosPort-VI C4471	DocuCentre-VI C4471
ApeosPort-VI C3371	DocuCentre-VI C3371
ApeosPort-VI C2271	DocuCentre-VI C2271

Smart WelcomEyes Advance 2

取扱説明書

ご注意

- ① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改変することはおやめください。
ただし、本機をご利用いただくために本書を参照する場合に限り、本書を複製することができます。
- ② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- ③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
- ④ 本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
- ⑤ 本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

Xerox、Xerox ロゴ、および Fuji Xerox ロゴは、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。
Smart WelcomEyes は富士ゼロックス株式会社の登録商標または商標です。

目次

目次.....	2
1 お使いいただく前に	
はじめに	4
本書の使い方.....	5
本書の構成.....	5
本書の表記.....	5
2 概要	
Smart WelcomEyes Advance 2 とは	8
各部の名称と働き	9
3 設定	
Smart WelcomEyes Advance 2 の管理者モードの入り方.....	12
ユーザー登録 / 集計確認.....	14
ユーザー情報	14
顔情報	16
顔認識 / 人検知の設定.....	19
過去 1 週間の利用状況.....	22
登録内容の削除 / 集計リセット	23
バージョン情報.....	24
カメラ画像の確認.....	25
診断.....	26
4 顔認識の手順	
顔情報で認証する	28
顔情報とパスワードで認証する	29
一般ユーザーによる顔情報の変更.....	30
5 トラブル対処	
トラブル対処.....	34
エラーコード一覧	36
6 付録	
ソフトウェアの更新	40
設定復元ツール.....	41
注意制限について	42

1 お使いいただく前に

この章では、本書の使い方について説明します。

- はじめに 4
- 本書の使い方 5

はじめに

このたびは Smart WelcomEyes Advance 2 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書には、Smart WelcomEyes Advance 2 の操作方法および使用上の注意事項を記載しています。Smart WelcomEyes Advance 2 の性能を十分に発揮させ、効果的にご利用いただくために、ご使用になる前に必ず本書を最後までお読みください。

お使いの機種によっては、使用できる機能が本マニュアルの記載とは異なる場合があります。

なお、本書の内容は、お使いのパーソナルコンピュータの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法を習得されていることを前提に説明しています。お使いのパーソナルコンピュータの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法については、パーソナルコンピュータ、オペレーティングシステム、ネットワークシステムなどに付属の説明書をお読みください。

本書は、読み終わったあとも必ず保管してください。本機能をご使用中に、操作でわからないことや不具合が出たときに読み直してご活用いただけます。

富士ゼロックス株式会社

本書の使い方

本書は、はじめてご使用になるかたを対象に、Smart WelcomEyes Advance 2 の操作方法などについて記載しています。

本書の構成

本書は、次の構成になっています。

- 1 お使いいただく前に
本書の使い方について説明しています。
- 2 概要
各部の名称と働きについて説明しています。
- 3 設定
Smart WelcomEyes Advance 2 の設定について説明しています。
- 4 顔認識の手順
顔認識の手順について説明しています。
- 5 トラブル対処
トラブル対処について説明しています。
- 6 付録
ソフトウェアの更新、設定復元ツールと注意制限について説明しています。

本書の表記

- 本書に記載している画面やイラストは、各種オプション製品が装着された状態のもので、使用している機械の構成によっては、表示されない項目や使用できない機能があります。
- 本文中では、説明する内容によって、次のマークを使用しています。

注記

- 注意すべき事項を記述しています。必ずお読みください。

補足

- 補足事項を記述しています。

参照

- 参照先を記述しています。

- 本文中では、次の記号を使用しています。

- | | |
|-----------|--|
| 「 」 | • 本書内にある参照先を表しています。 |
| 『 』 | • メディア、機能、タッチパネルディスプレイのメッセージなどの名称や入力文字などを表しています。 |
| 『 』 | • 参照するマニュアルを表しています。 |
| [] | • 本機のタッチパネルディスプレイに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。 |

- < > ボタン
- 操作パネル上のハードウェアボタンを表しています。
 - > • 操作パネルで順に項目を選択する手順を、省略して表しています。

例：「[[仕様設定 / 登録] > [登録 / 変更] > [ボックス登録]を選択します。」は、「[[仕様設定 / 登録] を押して、[登録 / 変更] を押したあと、[ボックス登録] を選択します。」という手順を省略して記載したものです。

- 参照先は、次のように表しています。

例：「『管理者ガイド』の「仕様設定」>「共通設定」>「音の設定」を参照してください。」は、管理者ガイドの「仕様設定」内の、「共通設定」での「音の設定」を参照することを表しています。

2 概要

この章では、Smart WelcomEyes Advance 2 の機能と各部の名称と働きについて説明します。

- Smart WelcomEyes Advance 2 とは..... 8
- 各部の名称と働き 9

Smart WelcomEyes Advance 2 とは

Smart WelcomEyes Advance 2 とは、Smart WelcomEyes に人検知カメラによる操作者検知機能と顔認識カメラによる簡易認証機能を追加したものです。これにより、節電状態からの復帰が、より少ない待ち時間で可能になります。Smart WelcomEyes については、本体同梱のマニュアルを参照してください。

■ 人検知カメラによる操作者検知機能

人検知カメラによって操作者を検知すると、複合機の節電状態を解除します。

■ 顔認識カメラによる簡易認証機能

顔認識カメラによって、撮影 / 登録されたユーザーの顔画像と照合し、その判定結果に応じて認証を行う機能です。

■ タイマー動作の抑制

センサーが人の動きを検知している間は、自動リセットやジョブ自動解除など、タイマーが設定されている機能は、設定時間が経過しても動作しません。

■ 節電自動復帰

センサーが人の動きを検知すると、節電機能を自動解除して、節電状態から復帰します。

■ 節電移行抑制

センサーが人の動きを検知している間は、節電状態までの移行時間が経過しても、節電状態に移行しません。

注記

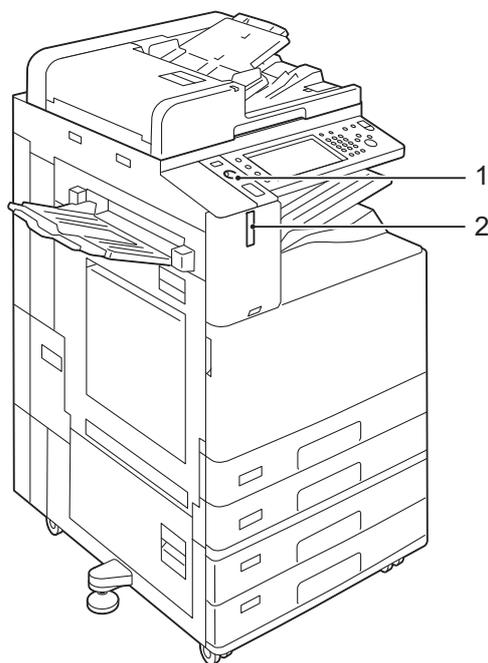
- Smart WelcomEyes Advance 2 の機能を使うには、機械管理者モードでの設定が必要です。
 - [認証方式の設定] を [本体認証] に設定している
 - [Smart WelcomEyes] を [稼働する] に設定している
 - [集計管理機能の運用] を [本体集計管理] に設定している
 - [IC カードの使用] を [する] に設定している
 - [非接触型 IC カード設定] を [パネル指示で認証解除] に設定している
 - [IC カード認証時のユーザー登録] を [しない] に設定している

参照

- 『管理者ガイド』の「仕様設定」>「認証 / セキュリティ設定」>「認証の設定」を参照してください。

各部の名称と働き

Smart WelcomEyes Advance 2 の各部の名称と働きについて説明します。



番号	名称	働き
1	顔認識カメラ	ユーザーの顔を撮影するためのカメラです。
2	人検知カメラ	ユーザーを検知するためのカメラです。

3 設定

この章では、Smart WelcomEyes Advance 2 の設定について説明します。

- Smart WelcomEyes Advance 2 の管理者モードの入り方 12
- ユーザー登録 / 集計確認..... 14
- 顔認識 / 人検知の設定 19
- 過去 1 週間の利用状況 22
- 登録内容の削除 / 集計リセット 23
- バージョン情報..... 24
- カメラ画像の確認..... 25
- 診断 26

Smart WelcomEyes Advance 2 の管理者モードの入り方

- 1 〈認証〉 ボタンを押します。

補足

- 顔認識画面が出たときは、もう一度〈認証〉ボタンを押してください。

- 2 〈数字〉 ボタン、または表示されるキーボードを使って、機械管理者の User ID を入力し、[確定] を押します。

パスワードを入力する場合は、[次へ] を押し、機械管理者のパスワードを入力して [確定] を押します。

補足

- ユーザー ID とパスワードの初期値は、本体同梱の『管理者ガイド』（メディア（ソフトウェア / 製品マニュアル）内）を参照してください。

- 3 メニュー画面で [Smart WelcomEyes Advance] を押します。

補足

- 「WSD」とは、「Web Services on Devices」の略です。



- 4 [管理者メニュー] 画面が表示されます。



■ ユーザー登録 / 集計確認

本機を利用するユーザーの登録や集計管理機能の運用設定ができます。

■ 顔認識 / 人検知の設定

顔認識、人検知の運用環境を設定します。

■ 過去 1 週間の利用状況

過去 1 週間の顔認識の利用状況を表示します。

■ 登録内容の削除 / 集計リセット

すべての登録ユーザーの、一括での登録内容の削除、および集計データのリセットができます。また、削除 / リセットする前にレポートを出力して、削除 / リセットされる内容を事前に確認することができます。

■ バージョン情報

Smart WelcomEyes Advance 2 のソフトウェアとハードウェアのバージョン情報を確認できます。

■ カメラ画像の確認

「顔認識カメラ」と「人検知カメラ」が映している画像を確認できます。

■ 診断

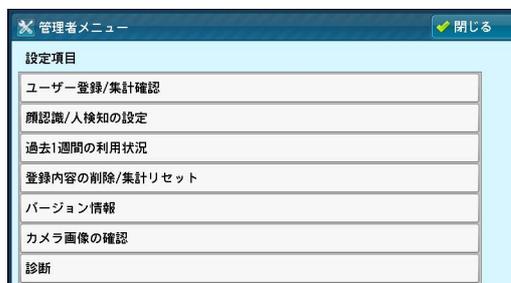
顔情報の登録や、顔認識ができないときに、Smart WelcomEyes Advance 2 機能の故障診断ができます。

ユーザー登録 / 集計確認

ユーザー情報、顔情報の登録、および集計確認の方法について説明します。

ユーザー情報

- 1 [管理者メニュー] 画面で、[ユーザー登録 / 集計確認] を押します。



- 2 登録する No. または[新規登録]を押します。

補足

- 顔情報は、100件 (No.901 ~ 1000) まで登録できます。
- [表示対象] プルダウンで、表示画面を [顔認識用ユーザー] と [その他のユーザー] のどちらかに切り替えることができます。



- 3 ユーザー情報を登録します。



■ User ID

本機を利用するための User ID を、半角 32 文字まで入力できます。

■ ユーザー名

ユーザー名を設定します。半角 32 文字 (全角 16 文字) まで入力できます。

■ パスワード

パスワードを設定します。セキュリティを強化するためにも、パスワードの設定をお勧めします。パスワードは、4 ~ 12 桁の範囲で設定できます。

補足

- パスワードは、[パスワード使用 - パネル入力時] が [する] に設定されている場合に、ユーザー認証をするときに必要になります。

■ メールアドレス

メールアドレスを 128 文字以内で入力します。ここで設定したアドレスは、[スキャナー (メール送信)] の [送信者] に設定されます。

■ サービスの利用制限

コピー、ファクス、スキャナー、プリンターの機能ごとに、利用制限や上限ページ数を指定できます。

1) [▼] を押し、[サービスの利用制限] を押します。

2) 必要に応じて設定します。

サービス	累積ページ数/上限ページ数
コピー	①: 0/9999999 ②: 0/9999999
ファクス	
スキャナー	①: 0/9999999 ②: 0/9999999
プリンター	①: 0/9999999 ②: 0/9999999

- コピーではユーザーごとに次の利用制限が設定できます。
 - [制限しない]、[白黒のみ許可]、[カラーのみ許可]、または [コピー禁止]
 - カラーの上限ページ数、白黒の上限ページ数 (1 ~ 9,999,999)
- ファクスではユーザーごとに次の利用制限が設定できます。
 - [制限しない]、または [ファクス禁止]
- スキャナーではユーザーごとに次の利用制限が設定できます。
 - [制限しない]、[白黒のみ許可]、[カラーのみ許可]、または [スキャナー禁止]
 - カラーの上限ページ数、白黒の上限ページ数 (1 ~ 9,999,999)
- プリンターではユーザーごとに次の利用制限が設定できます。
 - [制限しない]、[白黒のみ許可]、または [プリンター禁止]
 - カラーの上限ページ数、白黒の上限ページ数 (1 ~ 9,999,999)

■ ユーザーの権限

1) [ユーザーの権限] を押します。

2) 必要に応じて設定し、[決定] を押します。

- 一般ユーザーの権限
特別な権限は与えられません。
- 機械管理の権限
次の例外を除いて、機械管理者と同じ権限が与えられます。
 - 親展ボックスへの操作はできない
 - ジョブフローへの操作はできない
 - 機械管理者のパスワード変更はできない



注記

- 機械管理の権限を与えたユーザーであっても、Smart WelcomEyes Advance 2 の管理操作はできません。
- 集計管理の権限
次の権限が与えられます。
 - ユーザー登録情報の登録、削除、変更（パスワードのみ変更不可）、参照（設定により操作できないことがあります）
 - 集計管理の登録、削除、変更、参照
 - Account ID の代替表記 / Account ID の入力表示の変更
 - ユーザー別集計管理レポートのプリント

■ 累積ページ数のリセット

選択したユーザーの、現在までの累積ページ数をリセットして「0」に戻します。

■ すべての登録内容を削除

選択したユーザーに登録されているすべてのデータが削除されます。

顔情報

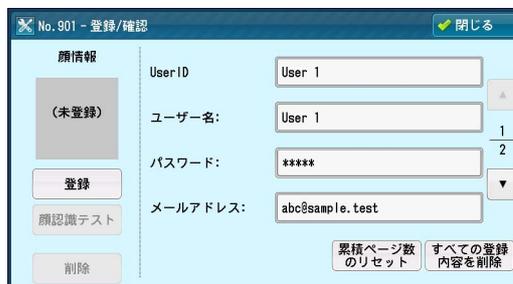
顔情報の [登録] と [削除] について説明します。

補足

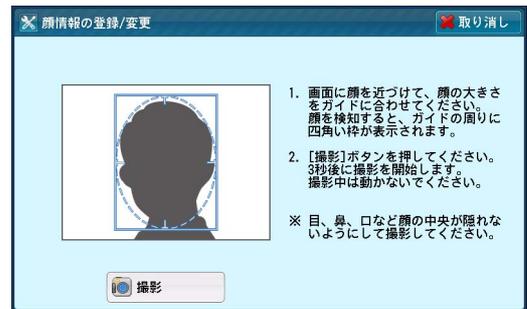
- 顔情報を変更する場合は、最初に登録した顔情報を削除してから再登録します。

■ 顔情報の登録

1 [顔情報] の [登録] を押します。



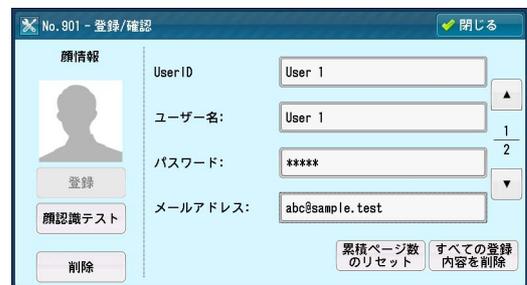
- 2 画面に顔を近づけ、ガイドに顔全体を合わせます。顔が検知されたことを示す四角い枠が表示されたら、[撮影] を押します。
- 3 からカウントダウンが始まり、0 に達すると撮影が開始されます。



- 3 [はい (登録する)] を押します。

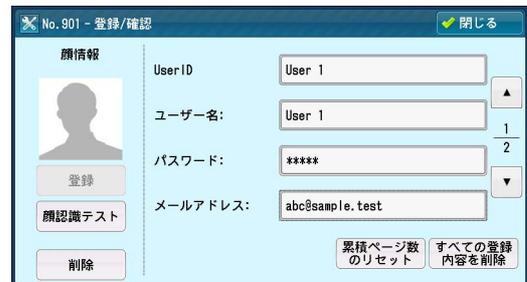


顔情報が表示されます。

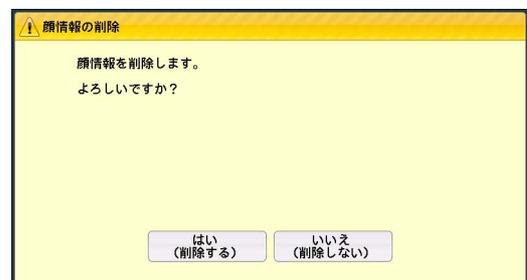


■顔情報の削除

- 1 [顔情報] の [削除] を押します。



- 2 [はい (削除する)] を押します。



■顔認識テスト

[顔情報]の[顔認識テスト]を押します。

- 3 登録された顔情報でユーザーを認識できるかをテストします。認識に成功すると、画像の下にユーザー情報が表示されます。

顔認識 / 人検知の設定

- 1 [顔認識 / 人検知の設定] 画面で、運用環境を設定します。

設定項目	現在の設定値
顔認識による認証の運用	する
顔認識とパスワード入力の併用	しない
一般ユーザーによる顔情報の変更	許可
顔画像の保存	する
カメラ画像の表示の初期値	表示する
接近検知範囲(半径)	1.2m (推奨)
滞在検知範囲(奥行き)	35cm

設定項目	現在の設定値
フリッカー補正	しない

■ 顔認識による認証の運用

- しない
顔認識による認証を運用しません。
- する
顔認識による認証を運用します。

■ 顔認識とパスワード入力の併用

- しない
顔認識とパスワード入力を併用しません。
- する
顔認識とパスワード入力を併用します。

■ 一般ユーザーによる顔情報の変更

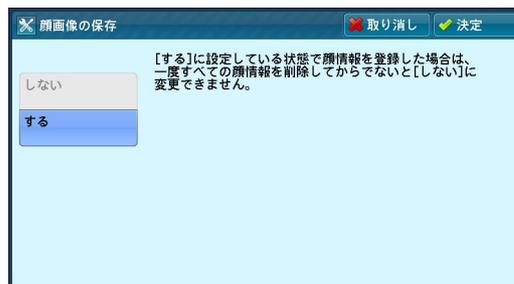
- 禁止
一般ユーザーによる顔情報の変更を禁止します。
- 許可
一般ユーザーによる顔情報の変更を許可します。

■ 顔画像の保存

- しない
登録した顔画像を保存しません。
- する
登録した顔画像を保存します。

補足

- [する] に設定している状態で顔情報を登録した場合は、一度すべての顔情報を削除してからでないと [しない] に変更できません。



■ カメラ画像の表示の初期値

- 表示しない
認証画面にカメラ画像を表示しません。
- 表示する
認証画面にカメラ画像を表示します。



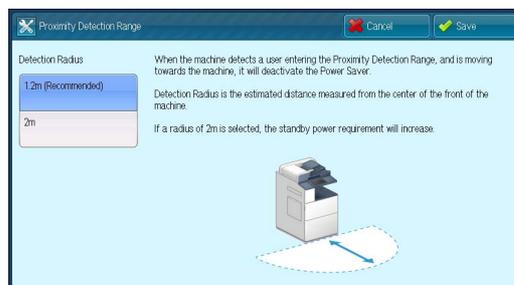
■ 接近検知範囲（半径）

接近検知範囲内への人の立ち入りとその人の動きを検知し、複合機に向かって歩いてくると判断した場合は節電モードを解除します。

- 検知半径
 - 1.2m（推奨）
 - 2m

補足

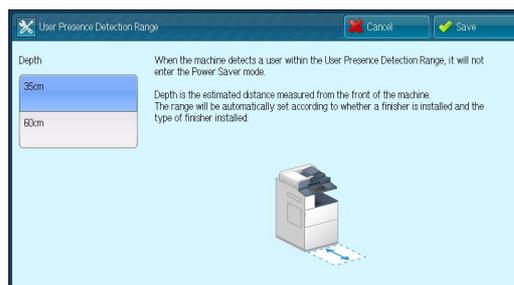
- 接近検知半径は本体前面の中心からの目安の距離です。
- 接近検知半径を [2m] に設定すると待機電力が大きくなります。



■ 滞在検知範囲

複合機を使用している人が滞在検知範囲の中にいる間は、節電モードに移行しません。奥行きは本体前面からの目安の距離です。幅はフィニッシャー（オプション）の装着有無とフィニッシャー（オプション）の種類によって自動的に設定されます。

- 35cm
- 60cm



■ フリッカー補正

補足

- フリッカーとは、ディスプレイに生じる細かいちらつき現象のことです。
- しない
フリッカーを補正しません。
- する (50Hz)
- する (60Hz)



50Hz の電源を使用する場合のフリッカーを補正します。

- する (60Hz)

60Hz の電源を使用する場合のフリッカーを補正します。

過去 1 週間の利用状況

過去 1 週間の利用状況を表示します。

- 1 [管理者メニュー] 画面で、[過去 1 週間の利用状況] を押します。



- 2 利用状況を確認し、[閉じる] を押します。

右図の場合、8時から12時までの4時間の間に、述べ3名のユーザーが利用したことを表しています。



■ 日付

利用状況を表示中の日付と曜日。

■ [▶]

表示日付の翌日の利用状況を表示。

■ [◀]

表示日付の前日の利用状況を表示。

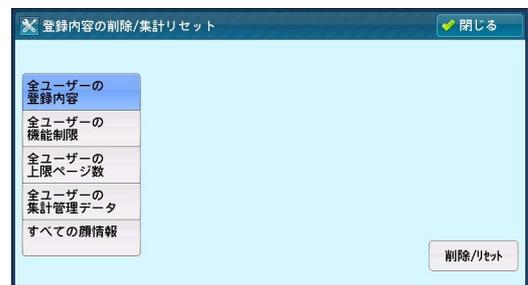
登録内容の削除 / 集計リセット

すべての登録ユーザーの、一括での登録内容の削除、および集計データのリセットができます。また、削除 / リセットする前にレポートを出力して、削除 / リセットされる内容を事前に確認することができます。

- 1 [管理者メニュー] 画面で、[登録内容の削除 / 集計リセット] を押します。



- 2 削除する内容を選択し、[削除 / リセット] を押します。



■ 全ユーザーの登録内容

ユーザーごとに登録している設定内容をすべて削除します。また、上限ページ数、累積ページ数、プリンター集計データなどのデータもすべて削除します。

注記

- ユーザーがオーナーになっているジョブフロー、親展ボックス、および親展ボックス内の文書も削除されます。ユーザーがオーナーになっている対象が多い場合(大量の文書が親展ボックス内に残っている場合など)は、削除にかなり時間がかかります。

■ 全ユーザーの機能制限

全ユーザーの機能制限をすべて削除します。

■ 全ユーザーの上限ページ数

全ユーザーの上限ページ数を初期値 (9,999,999) にリセットします。

■ 全ユーザーの集計管理データ

機械管理者を含む、全ユーザーのすべての集計管理データをリセットします。ページ数も、「0」にリセットされます。

■ すべての顔情報

すべてのユーザーの顔情報を削除します。

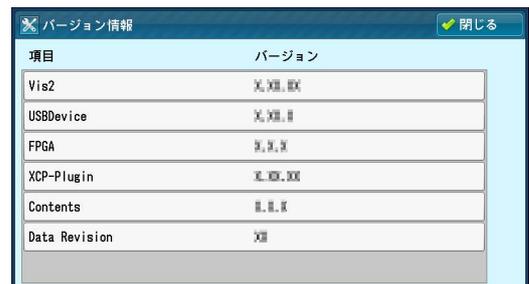
バージョン情報

顔認識用カスタムサービスのバージョン情報を確認できます。

- 1 [管理者メニュー] 画面で、[バージョン情報] を押します。



- 2 バージョン情報を確認し、[閉じる] を押します。



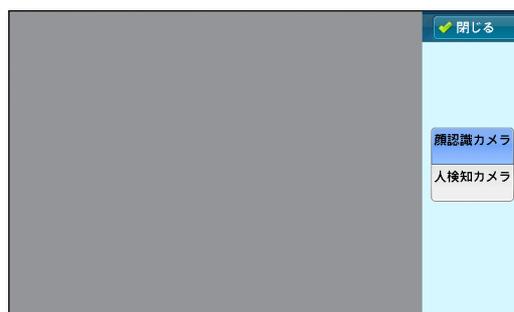
カメラ画像の確認

「顔認識カメラ」と「人検知カメラ」が映している画像を確認することができます。

- 1 [管理者メニュー] 画面で、[カメラ画像の確認] を押します。



- 2 [顔認識カメラ] を選択し、顔認識カメラの画像を確認します。



- 3 [人検知カメラ] を選択し、人検知カメラの画像を確認します。



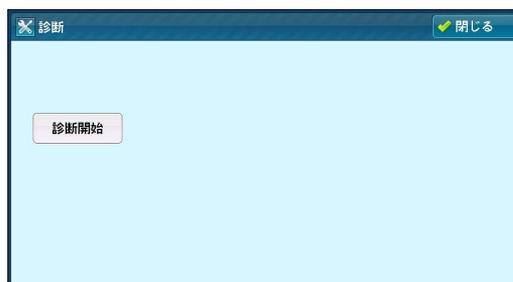
診断

顔情報の登録や、顔認識ができないときに、Smart WelcomEyes Advance 機能の故障診断ができます。

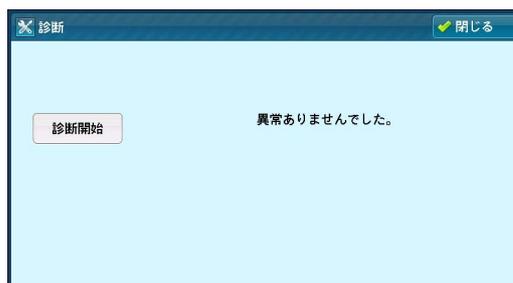
- 1 [管理者メニュー] 画面で、[診断] を押します。



- 2 [診断開始] を押します。



診断結果を確認します。



4 顔認識の手順

この章では、顔認識の手順について説明します。

- 顔情報で認証する 28
- 顔情報とパスワードで認証する 29
- 一般ユーザーによる顔情報の変更 30

顔情報で認証する

顔検知カメラによる顔情報の認識手順について説明します。

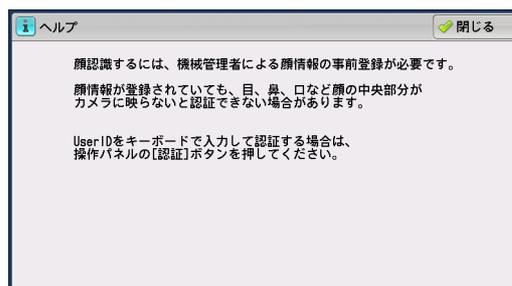
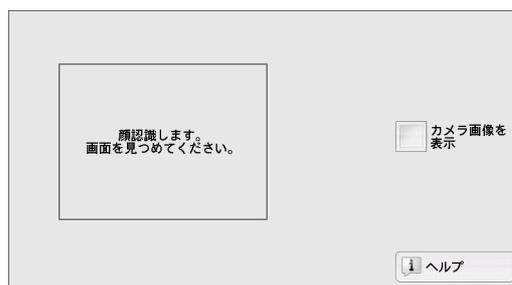
1 本機の前に立ちます。

画面に顔を近づけ、ガイドに顔全体を合わせます。



補足

- [カメラ画像を表示] を選択しない場合と、[ヘルプ] を押した場合の、画面表示です。



認証されると、メニュー画面が表示されます。画面右上でユーザー名の確認ができます。

補足

- 「WSD」とは、「Web Services on Devices」の略です。



顔情報とパスワードで認証する

顔情報とパスワード併用による認証手順について説明します。

パスワードによる認証をするには、機械管理者モードでの設定が必要です。

- [パスワード使用 - パネル入力時] が [する] になっていること
- [パスワード使用 - IC カード認証時] が [する] になっていること

参照

- 『管理者ガイド』の「仕様設定」>「認証 / セキュリティ設定」>「認証の設定」を参照してください。

1 本機の前に立ちます。

画面に顔を近づけ、ガイドに顔全体を合わせます。



2 パスワードを入力して、[ログイン] を押します。



認証されると、メニュー画面が表示されます。

補足

- 「WSD」とは、「Web Services on Devices」の略です。



一般ユーザーによる顔情報の変更

管理者メニューで「一般ユーザーによる顔情報の変更」が許可の場合のみ変更可能です。顔情報の変更のほか、ユーザーアイコンの設定ができます。

- 1 本機の前に立ちます。

画面に顔を近づけ、ガイドに顔全体を合わせます。



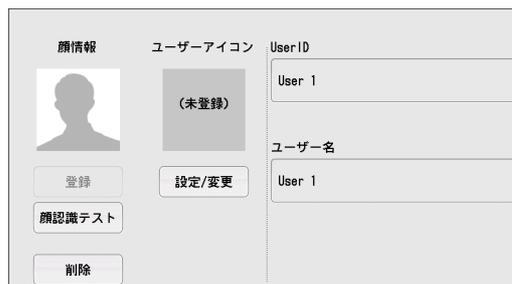
- 2 [Smart WelcomEyes Advance] を押しします。

補足

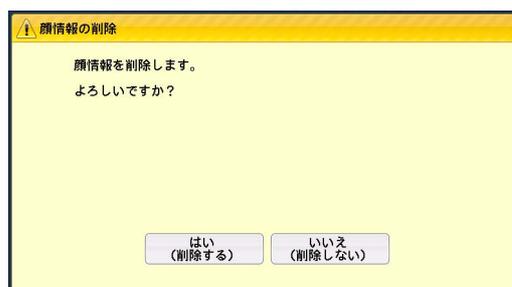
- 「WSD」とは、「Web Services on Devices」の略です。



- 3 [顔情報] の [削除] を押しします。



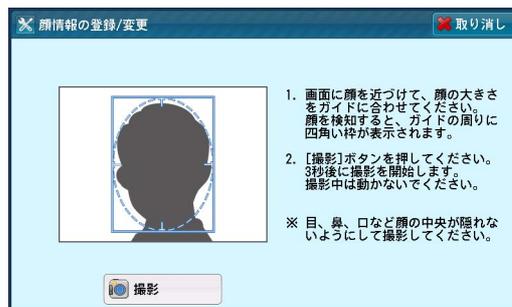
- 4 [はい (削除する)] を押しします。



- 5 [登録] を押しします。



- 6 画面に顔を近づけ、ガイドに顔全体を合わせます。顔が検知されたことを示す四角い枠が表示されたら、[撮影] を押します。
3 からカウントダウンが始まり、0 に達すると撮影が開始されます。



- 7 [はい (登録する)] を押します。



- 8 [ユーザーアイコン] の [設定 / 変更] を押します。



- 9 ユーザーアイコンに設定する画像を選択します。
[お好み画像] を登録する場合は、下記の手順を参照してください。



- 設定しない
画像が表示されません。

- 顔画像
登録した顔画像が表示されます。顔画像を登録していない場合は表示されません。

補足

- [顔画像の保存] で [しない] に設定している場合、顔画像は表示されません。詳しくは、「顔画像の保存」(P.20) を参照してください。

- お好み画像

- 1) [撮影 / 変更] を押します。

補足

- お好み画像は、顔情報の変更画面で、ユーザーアイコンとして表示されます。

- 2) [撮影] を押します。
- 3) [はい (登録する)] を押します。

5 トラブル対処

この章では、トラブルが発生した場合の対処方法について説明します。

- トラブル対処 34
- エラーコード一覧..... 36

トラブル対処

本機に何らかのトラブルが発生した場合の処置について説明します。

症状	原因	処置
顔情報を登録できない	撮影の際、眉 / 目 / 鼻 / 口が隠れていないか	眉 / 目 / 鼻 / 口など顔の中央が隠れないようにして撮影しなおします。 参照 <ul style="list-style-type: none"> 顔情報の登録 / 変更については、「顔情報の登録」(P.16) を参照してください。
	顔検知カメラに異常がないか	次のどれかの方法で処置してください。 <ul style="list-style-type: none"> 機械管理者モードに入り、[管理者メニュー] 画面で [カメラ画像の確認] を押します。 参照 <ul style="list-style-type: none"> カメラ画像の確認については、「カメラ画像の確認」(P.25) を参照してください。 機械管理者モードに入り、[管理者メニュー] 画面で [診断] を押します。 参照 <ul style="list-style-type: none"> 診断については、「診断」(P.26) を参照してください。
顔認識できない	撮影の際、眉 / 目 / 鼻 / 口が隠れていないか	眉 / 目 / 鼻 / 口など顔の中央が隠れないようにして、顔認識をしなおします。 参照 <ul style="list-style-type: none"> 顔認識については、「顔情報で認証する」(P.28) を参照してください。
	顔検知カメラに異常がないか	次のどれかの方法で処置してください。 <ul style="list-style-type: none"> 機械管理者モードに入り、[管理者メニュー] 画面で [カメラ画像の確認] を押します。 参照 <ul style="list-style-type: none"> カメラ画像の確認については、「カメラ画像の確認」(P.25) を参照してください。 機械管理者モードに入り、[管理者メニュー] 画面で [診断] を押します。 参照 <ul style="list-style-type: none"> 診断については、「診断」(P.26) を参照してください。
	顔認識がうまくいかない	認証ボタンを押し、キー入力方法で認証します。 参照 <ul style="list-style-type: none"> キー入力方法で認証する方法については、「Smart WelcomEyes Advance 2 の管理者モードの入り方」(P.12) を参照してください。

症状	原因	処置
<p>検知範囲に入っても節電解除されない</p>	<p>焦電センサー/人検知カメラに異常がないか</p> <p>参照</p> <ul style="list-style-type: none"> 焦電センサーについては、『ユーザーズガイド』の「機械の構成」>「各部の名称と働き」を参照してください。 	<p>次のどれかの方法で処置してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 機械管理者モードに入り、[管理者メニュー]画面で[カメラ画像の確認]を押します。 <p>参照</p> <ul style="list-style-type: none"> カメラ画像の確認については、「カメラ画像の確認」(P.25)を参照してください。 機械管理者モードに入り、[管理者メニュー]画面で[診断]を押します。 <p>参照</p> <ul style="list-style-type: none"> 診断については、「診断」(P.26)を参照してください。

エラーコード一覧

次の表でエラーコードを参照して、処置してください。

注記

- エラーコードの「X」の表記は、エラーの種類により異なった数字が表示されることを意味します。ただし、数字が異なっても、原因と処置の内容は同じです。

エラーコード	原因 / 処置
100-0101	<p>【原因】 不正なユーザー ID が存在します。</p> <p>【処置】 ユーザーID がスペースだけになっているユーザーがないかを確認します。いた場合は、そのユーザーを削除します。</p>
100-0102	<p>【原因】 不正な IC カード ID が存在します。</p> <p>【処置】 IC カード ID が入力されたユーザーがないかを確認します。いた場合は、そのユーザーを削除します。No.0001 ~ 0900 のユーザーは本機の仕様設定から削除し、No.0901 ~ 1000 のユーザーは、Smart WelcomEyes Advance 2 の管理者メニューから削除します。</p>
100-08XX	<p>【原因】 通信エラーが発生しました。</p> <p>【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。</p> <p>ふたたび同じエラーコードが表示された場合は、本機の電源および主電源を切り、もう一度主電源および電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。</p>
100-09XX	<p>【原因】 エラーが発生しました。</p> <p>【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。</p> <p>ふたたび同じエラーコードが表示された場合は、本機の電源および主電源を切り、もう一度主電源および電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。</p>
200-0000	<p>【原因】 エラーが発生しました。</p> <p>【処置】 弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。</p>
200-4128	<p>【原因】 人検出カメラにエラーが発生しました。</p> <p>【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。</p> <p>ふたたび同じエラーコードが表示された場合は、本機の電源および主電源を切り、もう一度主電源および電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。</p>
200-4129	<p>【原因】 顔認識カメラにエラーが発生しました。</p> <p>【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。</p> <p>ふたたび同じエラーコードが表示された場合は、本機の電源および主電源を切り、もう一度主電源および電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。</p>

エラーコード	原因 / 処置
200-1303	<p>【原因】 エラーが発生しました。</p> <p>【処置】 弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。</p>
200-3102	<p>【原因】 内部エラーが発生しました。</p> <p>【処置】 弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。</p>
200-4996 200-4998	<p>【原因】 内部エラーが発生しました。</p> <p>【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。</p> <p>ふたたび同じエラーコードが表示された場合は、本機の電源および主電源を切り、もう一度主電源および電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。</p>
200-4999	<p>【原因】 通信エラーが発生しました。</p> <p>【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。</p> <p>ふたたび同じエラーコードが表示された場合は、本機の電源および主電源を切り、もう一度主電源および電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。</p>
200-XXXX	<p>【原因】 エラーが発生しました。</p> <p>【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。</p> <p>ふたたび同じエラーコードが表示された場合は、本機の電源および主電源を切り、もう一度主電源および電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。</p>

6 付録

この章では、ソフトウェアの更新、設定復元ツールと注意制限について説明します。

- ソフトウェアの更新 40
- 設定復元ツール 41
- 注意制限について 42

ソフトウェアの更新

ソフトウェアの更新の方法について説明します。

本機では、Smart WelcomEyes Advance 2 のソフトウェアの更新が必要となった場合、メニュー画面の [Smart WelcomEyes Advance] を選択したときに、ソフトウェアの更新を通知する画面が表示されます。

この場合、機械管理者モードでソフトウェアを更新します。

注記

- ソフトウェアの更新中は電源を切らないでください。故障の原因になることがあります。

- 1 〈認証〉 ボタンを押します。
- 2 〈数字〉 ボタン、または表示されるキーボードを使って、機械管理者の User ID を入力し、[確定] を押します。
パスワードを入力する場合は、[次へ] を押し、機械管理者のパスワードを入力して [確定] を押します。

補足

- ユーザー ID とパスワードの初期値は、本体同梱の『管理者ガイド』（メディア（ソフトウェア / 製品マニュアル）内）を参照してください。

- 3 [Smart WelcomEyes Advance] を押します。

補足

- [WSD] とは、「Web Services on Devices」の略です。



- 4 [実行] を押します。

補足

- 更新中は他の操作はできません。

- 5 [再起動] を押します。

補足

- システムデータの変更が必要な場合は、システムデータ一括変更画面が表示されます。

設定復元ツール

設定復元ツールとは、本機のハードディスクの故障によるデータ消失に備えて、ネットワークで接続されたコンピューターに、設定データなどをバックアップする機能です。

ハードディスクの交換後に、データを復元することを目的としています。

ハードディスクの故障によりデータが消失してしまうと、登録済みの顔情報もすべて消失してしまいます。定期的なバックアップで万一のトラブルに備えることをお勧めします。

設定復元ツールは、弊社公式サイトからダウンロードしてください。URL は次のとおりです。

<http://www.fujixerox.co.jp/download/>

補足

- 本機にハードディスク、Ethernet インターフェイスが装着されている場合に、バックアップできません。

次のデータがコンピューターにバックアップされます。

- 宛先表
- 親展ボックス（文書データを除く）
- ユーザー登録リスト
- ジョブフロー
- ジョブメモリー
- ジョブログ
- エラーログ
- 監査ログ
- その他、お客様が設定した情報など

ハードディスクの交換はお客様ではできませんので、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。

注意制限について

Smart WelcomEyes Advance 2（以下 SWEA2）の注意および制限事項について説明します。

■ SWEA2 ご利用時の制限について

- SWEA2 と次のツールを併用する場合は、それぞれのツールの注意制限事項を必ず確認してから、SWEA2 をご利用ください。
 - Device Setup（デバイス設定ツール）
 - ApeosWare Log Management
 - ApeosWare Device Management
- 次の機能や関連商品（オプション含む）は、SWEA2 と併用 / 併設できません。詳しくは、弊社の営業担当者にお尋ねください。
 - IC カードなどの SWEA2 以外の認証機能
 - VoIP ゲートウェイ
 - 大型カラー操作パネル
 - 音声ナビ
 - EP 関連商品
- 顔登録などの SWEA2 に関する操作は、必ず本機操作パネルから行ってください。操作パネルの [Smart WelcomEyes Advance] アイコンを押すと操作画面が表示されます。操作パネル以外（CentreWare Internet Services や、弊社の公式サイトからダウンロードしたツールなど）から操作した場合、予期せぬトラブルが起きる原因となります。
- SWEA2 をご利用の場合は、ゲストユーザーの使用はできません。
- 管理の権限を与えられたユーザーであっても、SWEA2 の管理操作はできません。

■ 顔登録および顔認識について

- 顔登録および顔認識用カメラの照度範囲は、本機上部の照度が 150 ルクス～ 2,000 ルクスです。
照度のおおよその目安は次のとおりです。
 - 直射日光：1 万～ 10 万ルクス（天気、時間帯、光の当たり方などによる）
 - 部屋の窓際：1000～1 万ルクス（天気、時間帯、光の当たり方などによる）
 - オフィス、工場、学校など：300～1000 ルクス
 - 倉庫、洗面所、階段、機械室など：100～200 ルクス
- SWEA2 は、100% のセキュリティーを保証するものではありません。特に次のような場合は、顔登録や顔認識が正常にできないことがあります。
 - 照度範囲が狭い照明（スポットライトなど）の光がカメラに映っている。（顔登録および顔認識のときに、画面に顔を近づけると改善されることがあります。）
 - 顔の一部だけに光が当たっている。（顔登録および顔認識のときに、画面に顔を近づけると改善されることがあります。）
 - 逆光になっている。（使用者の背後からカメラに向かって光が当たっている。）（顔登録および顔認識のときに、画面に顔を近づけると改善されることがあります。）
 - カメラ画面に映っている顔の輪郭が、ガイドフレームと大きくずれている。（顔登録と顔認識のときは、ガイドフレームに顔の輪郭をできる限り合わせてください。）
 - 顔が上向きで、あごが上がっている。（あごを引くと改善されることがあります。）
 - 顔登録したときと、顔認識のときで、使用者の髪型が極端に違う。
 - 前髪で眉毛が隠れている。

- メガネで目が隠れている。
- マスクをしている。(マスクは、必ず外してください。)
- 太陽光による明るさの変化が大きい場所(窓際など)に本機が設置されている。(ブラインドやカーテンなどで遮光すると改善されることがあります。)

■ ユーザー登録について

- No.0001 ~ 0900 のユーザー(顔情報が登録できないユーザー)について、ユーザー情報の「IC カードの ID」欄には情報を入力しないでください。情報を入力すると、顔認識不良や、その他の予期せぬトラブルの原因となります。
- SWEA2 の操作画面からは、次の設定ができません。
 - デバイス利用許可の設定
 - ユーザーの権限追加の設定
 - 権限グループの設定

■ 節電状態からの復帰について

- 本機の周辺環境や、使用する人の服装、靴の色によって、本機が節電状態から復帰する速度にばらつきが出ることがあります。また、同じ環境で同じ人が使用した場合でも、節電状態からの復帰速度がまったく同じになるとは限りません。
- 本機への使用者の近づき方や使用者の服装などによっては、本機が節電状態から復帰しないことがあります。
- 本機は足の向きも検知しているため、靴と床の色が似ていると、足の向きが検出しづらくなり、節電からの復帰速度が遅くなる場合があります。
- 本機の前を素通りした場合、本機は節電状態を維持するようになっていますが、素通りするときの本機との距離、服装などによっては節電状態から復帰することがあります。
- 本機の前に使用者がいなくても、室内照明の点灯 / 消灯、周辺の環境変化や人の動きによっては、本機が節電状態から復帰する場合があります。
- 節電ボタンを押して本機を強制的に節電状態に入れたい場合は、低電力モードとスリープモードの移行時間を同じにする必要があります。移行時間を同じにしないと、節電ボタンを押して本機が節電状態に入ったあと、カメラが人を検知してすぐに節電復帰することがあります。

移行時間の設定方法については、本体同梱の『管理者ガイド』(メディア(ソフトウェア / 製品マニュアル)内)を参照してください。

■ 機械管理者の操作について

機械管理者がコピーなどのジョブを実行するときは、操作パネルの [Smart WelcomEyes Advance] アイコンを押して、一度、管理者メニューに入る必要があります。管理者メニューに入ると、制限解除のメッセージが表示され、ジョブ実行可能となります。

■ LED ランプについて

本機が人を検出している間は LED ランプが点灯していますが、本機の前でじっとしている時間が長いと、人がいないと判断して LED ランプが消灯します。消灯した状態が 1 分間続くと、本機は自動的に節電状態に入ります。

■ データのバックアップについて

本機のトラブルなどでハードディスクの初期化をすると、登録した顔情報はすべて消えてしまいます。常に最新の登録情報をバックアップするようにしてください。バックアップの方法は、「設定復元ツール」(P.41)を参照してください。なお、

SWEA2 のデータ復元はお客様ではできませんので、万が一のトラブル対応時は、弊社のカスタマーエンジニアがデータ復元をします。

ApeosPort-VI C7771/C6671/C5571/C4471/C3371/C2271
DocuCentre-VI C7771/C6671/C5571/C4471/C3371/C2271

Smart WelcomEyes Advance 2 取扱説明書

著作者 - 富士ゼロックス株式会社
発行者 - 富士ゼロックス株式会社

発行年月 - 2016年 6月 第1版

(帳票番号:ME7809J1-1)